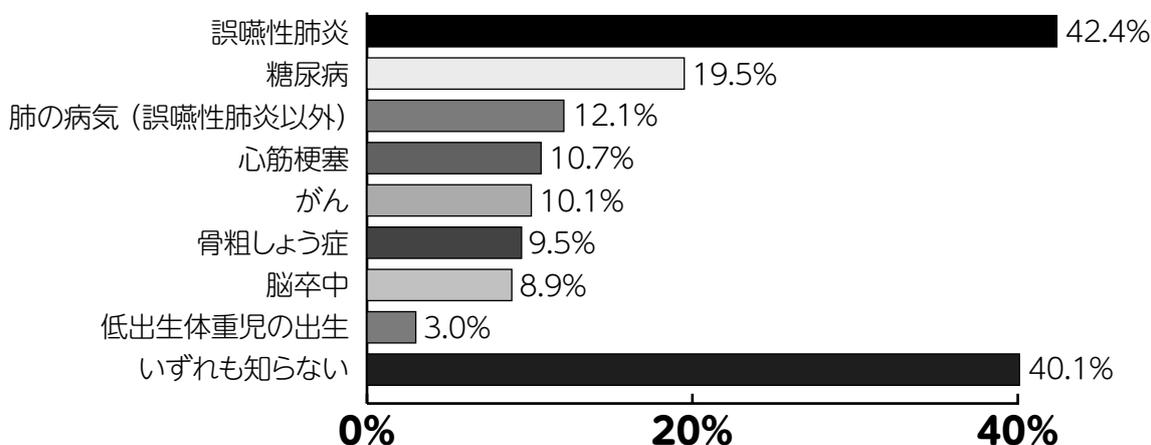


健康応援トピックス

お口の健康と、全身の病気

お口の状態が良くないと全身の状態にも悪影響を与えることがあります。『第2次あま市歯と口腔保健計画』の中間評価におけるアンケートの結果では、「歯と口腔の健康と関連があることを知っているもの」のうち「誤嚥性肺炎」が42.4%、「いずれも知らない」が40.1%、「糖尿病」が19.5%という結果でした。

歯と口腔の健康と関連があることを知っているもの



糖尿病: 歯周病が産生する炎症性物質は、インスリンの働きを低下させるため歯周病が悪化すると、血糖値が下がりにくくなります。

骨粗しょう症: 歯周病が産生する炎症性物質が、骨の代謝に悪影響を与え、骨密度低下を引き起こす要因と考えられます。

脳梗塞: 歯周病にかかっている人は脳梗塞になりやすいという報告があります。歯周病菌が、血管に入り込み動脈硬化を引き起こしたり、血栓を作ったりすると考えられます。

低体重児出産・早産: 歯周病が進むと出る炎症性物質は、子宮を収縮させる作用があり、低体重児出産や早産のリスクが高まります。

他にも、お口の健康は、誤嚥性肺炎、心筋梗塞、がん、脳卒中、認知症等の疾患と関連があります。正しい口腔ケアと定期的な歯科健診で、全身の健康につなげましょう。

～歯と口腔の健診のお知らせ(予約制)～

7月19日(水)午前 七宝保健センター
 10月5日(木)午前 甚目寺保健センター
 10月20日(金)午前 美和保健センター
 受診を希望する保健センターに電話でご予約ください。

甚目寺保健センター ☎443・0005 FAX443・5461
 七宝保健センター ☎441・5665 FAX449・1037
 美和保健センター ☎443・3838 FAX443・3839

